

芳賀 聖一 教授 最終講義

2015/ 03/ 14(Sat)

本学農学部応用生物化学科の芳賀 聖一 教授が本年度の3月をもってご退職されます。それに先立ち、去る3月14日に天白キャンパス共通講義棟南S101教室にて最終講義が開催されました。芳賀先生は、平成2年に本学農学部の助教授として赴任されてから25年間、本学での教育と研究に従事される中で、全国の大学に先駆けてHACCP教育を導入するなどの実践的な農学教育を行ってきました。この日の、「再び始まる私の歩み」—未来食品に期する想いー、と題された講演では、学生時代から前任校の宮崎大学、そして本学での教育と研究への取り組みについて話されました。講義当日は、大勢の卒業生や農学部教職員、農学部学生・大学院生らが聴講に訪れ、大きな教室は満席となりました。ユーモアを交えたお話、卒業生らの子どもたちへの配慮など、お人柄まで伺える貴重な講演を頂いた芳賀先生に感謝をお送りすると共に、今後のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。



後継の林先生からのご紹介



会場後方から登場された芳賀先生



ユーモアと優しさが溢れたご講演



卒業生からの花束とともに